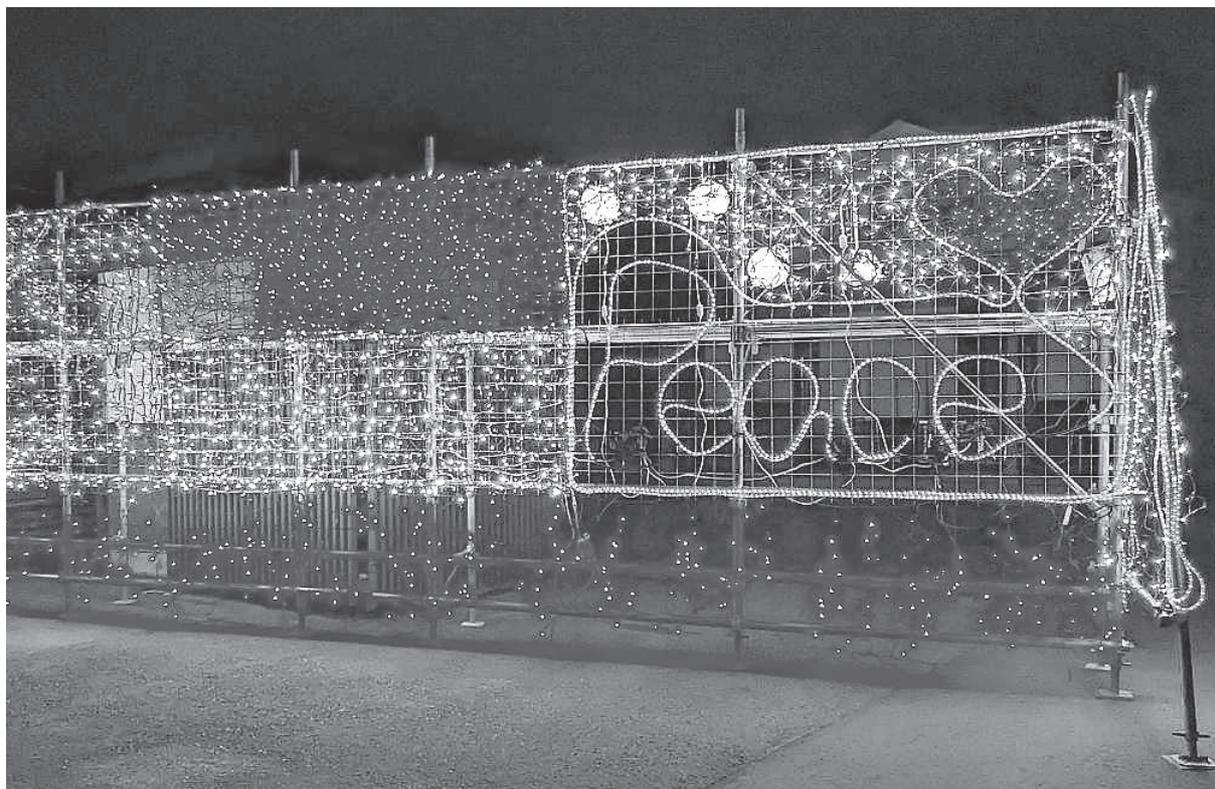


# 退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.starfree.jp/>  
発行・編集責任者 川 村 元



〈画像提供：酒蔵まつり実行団体協議会〉

## 目次

2023年度事業実施方針／	
資金運用検討委員会報告……………	2
ご加入の健康保険証が変わったら ……	3
地区訪問報告／地区活動交流会報告……………	4
リフィル処方箋とは？……………	5
公益文化事業／陳情署名……………	6
おくやみ欄……………	7
満100歳を迎えられた方々／あとがき ……	8

## 表紙の写真

### — 輝き幻想的イルミネーション点灯 —

花巻市石鳥谷町の中心市街地にあります多目的施設「酒蔵交流館」にて、毎年12月初旬～翌2月末まで、地元青年部によるイルミネーション装飾を行っております。

今回のテーマは「**ウクライナに平和を**」です。ロシアによる国際法無視の侵略行為は決して許されるものではありません。

厳冬に耐えながら戦うウクライナ国民への支援を呼びかけるべく、このイルミネーションを設営致しました。

一日も早い終結を切に願います。

会長 岩館大輔様より

## 退教互2023年度の事業実施方針

2022年度の療養費支払件数は前年度同期比で約3,390件の減で推移しているのにも関わらず療養費支払額が1,270万円ほど増加しております。

後期高齢者の負担割合が1割から2割に変更になり、支払額が増加することは予想どおりではありましたが、今後の動きを注視し対策を考慮していかなければなりません。

退教互の会員数約14,000人（準会員も含む）に対し後期高齢者（75歳以上）が約7,850人（全体の56%）内、約4,120人が2割負担者となっております。

政府は今年の5月より新型コロナウイルスの感染防止の分類を「2類」から「5類」に移行する方針を決定しました。

5類に引き下げられると、行動制限や医療体制等は下記のとおりとなる見通しです。

「5類」移行後 どうなる？		
	現 在	今 春～
行動制限	患者……………最大7日間 濃厚接触者……………最大5日間	なし なし
診察	発熱外来中心	原則 一般の医療機関
ワクチン接種	無料	今年度中に結論
入院・検査の公費負担	あり	当面 継続する案
屋内でのマスク	着用を推奨	原則不要の案

退教互としては引き続き感染対策を講じながら、2023年度の事業方針を以下のとおり進める計画であります。

- ① 「地区会長・事務局長会議」や「地区活動交流会」を開催します。
- ② 「地区連絡会」も開催します。
- ③ 「全国教職員囲碁大会岩手県予選」は開催する予定です。
- ④ 「研修旅行事業」を再開し実施します。
- ⑤ 「地区研修事業助成」については一部変更して予算の範囲内で行います。

## 資金運用検討委員会を開催しました

2022年12月15日（木）岩手教育会館カンファレンス201に於いて、資金運用検討委員会を開催いたしました。

検討委員は佐藤工岩教組委員長、村上智加子高教組委員長、高橋克典岩教組書記長、柳田陽一高教組書記長、高橋道明前専務理事、川村元専務理事、事務局から総務課長 藤原、主任主査 高橋、主査 菊池で構成されております。

前半は三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社仙台支店長の松本様と東北法人部第二課長の高橋様を講師に迎え、資産運用の在り方と債権ポートフォリオ構成について学習をし、後半は保有資産の状況説明や「受取利息・配当金」の経過報告を行い、2023年度の運用方針について確認をしました。

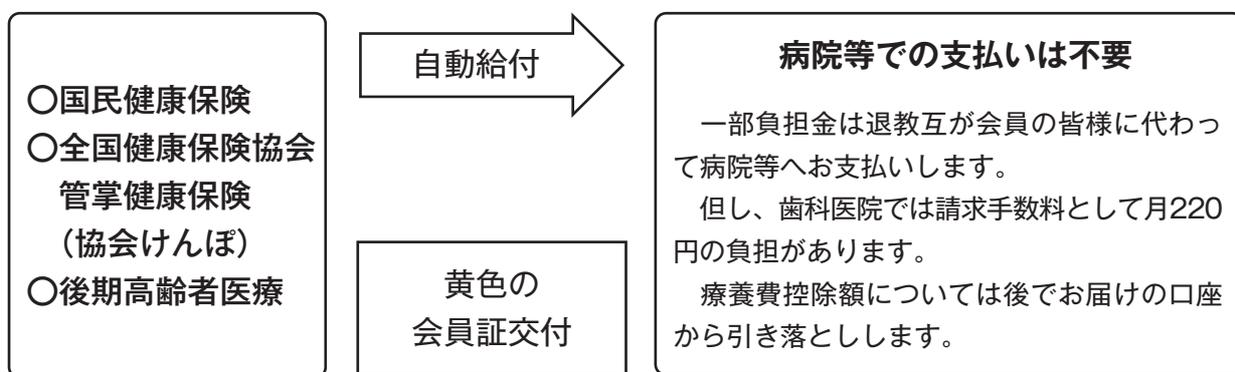
## ご加入の健康保険が変わったら・・・

毎年4月は退職、就職、任意継続期間終了後でご加入の健康保険が変わる方が最も多い時期です。

ご加入の健康保険が変わった方は、必ず退教互へ「**新しい保険証のコピー**」の送付をお願いします。

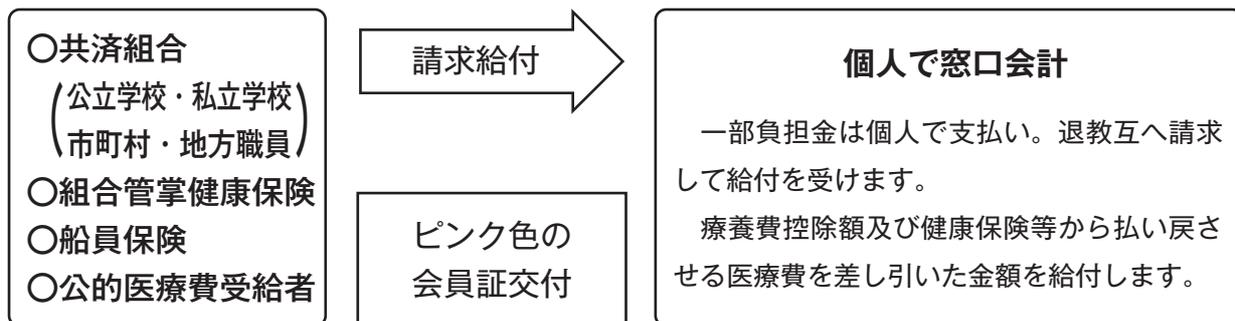
なおご加入の健康保険が変わると、病院・薬局等へ提出する「診療報酬請求書」への記入内容も変わりますので新しい健康保険証の区分・記号番号・保険者番号のご記入をお願いします。

ご加入の健康保険によっては、退教互からの給付の受け方、受診の要領が変わる場合がありますので下記ご参照ください。



※上記の健康保険加入者であっても次に該当する場合は請求給付となります。

- ①岩手県外で発行された保険証である場合
- ②岩手県外の医療機関で受診する場合



## 住所・電話番号等変更はありませんか？

お届けいただいている住所に現在住まれていない方や電話が不通の方が年々増えており、退教互からの送付書類やお問い合わせが出来ずに大変困っております。

住所・電話番号が変更になった際は必ず退教互へご連絡をお願いします。

## 地区訪問の様子



今年度も「地区連絡会」は開催を見送りました。開催中止に伴い6月から9月末まで金田一前理事長及び佐藤工理事長と川村元専務理事が挨拶も兼ね、各地区を訪問し2021年度の退教互の決算の概要について報告をいたしました。各地区の役員会や班長会等に合わせたの実施となり、地区連絡会に比べ人数は多くなかったのですが役員の方との交流とご意見も多々お伺いすることができました。

時節柄短時間での訪問となりましたが、報告内容は以下のとおりです。

### 2021年度の概要

- ① 21年度の決算状況については療養費支払額及び利息収入増による税金支払いが増えましたが経費支出を予定より抑えることができましたので、正味財産は前年度より増加しました。
- ② 退職会員数は約14,000人、前年と比較して200人ほど減少しています。現職会員の拡大が退教互の継続課題となっているが、2022年10月より加入年齢制限を撤廃することを決定しました。

### 退教互の課題

- ① 公務員の定年引上げにより今後10年は隔年での定年退職という状況になるので、現職会員から退職会員への移行が段階的になります。それに伴い掛金の移行も隔年になるため対応が必要です。
- ② 2022年10月より後期高齢者の負担割合が2割に上げられるので、状況を見ながらその対応を行うことが必要です。

## 2022年度地区活動交流会の報告

退教互の年間行事に各地区の代表の方にご参集いただき、各地区の活動の様子や状況報告、活動の課題について意見交流を行い、今後の本部・地区活動等の参考にする場を設けております。

今年度は、2022年12月1日（木）に開催し、18地区中16地区の事務局長さんにご出席をいただき、下記の報告やご意見がありました。

### ◎課題の現状

- ・新会員は、ほとんどが再任用職員としての勤務があるため、地区活動にほとんど参加できない。
- ・地区活動への参加者の固定化、広がりが見られない。
- ・地区役員、班長の固定化、役員を引き受けてくれる人が見つからない。
- ・コロナウィルス感染の影響でほとんど活動ができず、コミュニケーションが取れなくなっている。
- ・今まで使用してきた教育会館が使用できなくなり、活動する場所を考えなくてはならない。

### ◎今後に向けて

- ・組織財政基盤の安定に向けて、「現職会員拡大」を今まで以上に積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・後期高齢者の負担割合変更や定年延長に伴う影響を考慮し、将来を見据えた形での方針を検討する必要がある。
- ・「全教互陳情署名」への署名数が前年に比べ減少しているため、対策を講じながら増やしていく必要がある。

## リフィル処方箋とは？



2022年の診療報酬改定に伴い「リフィル処方箋」が導入されました。

「リフィル処方箋」とは、医師の定めた一定の期間内であれば繰り返し利用できる処方箋のことです。

そして「リフィル処方箋制度」とは、医師の診察を受けなくても複数回薬を受け取れる制度のことをいいます。

但し、患者の安全や健康を守るためには一定回数の診察が必要なため、課題が多く岩手県内はもとより他県でも普及していない現状です。

### ・対象となる患者

リフィル処方箋を受け取れるのは、「症状が安定している患者」さんに限られます。そして「医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できる」とされています。

### ・リフィル処方箋の使用回数

リフィル処方箋の総使用回数の上限は3回ですが医師の判断で「2回まで」とされることもあります。

## ◎リフィル処方箋のメリット

### ①通院負担が減る

リフィル処方箋が発行されれば、2回目・3回目に薬を受け取る際に病院へ行かなくてもよいため、通院の手間がなくなります。

### ②医療費の節約につながる

医療機関へかかる回数が減るので、当然のことながら医療費の負担も少なくなります。

### ③感染症罹患リスクが減る

医療機関を受診する回数が減ると外出機会が減るため、感染症に罹患するリスクを減らせます。

## ◎リフィル処方箋のデメリット

### ①医療事故・健康被害の懸念（診察を受ける機会が減る）

リフィル処方箋を受け取ると医療機関を受診する回数が減るため、当然のことながら医師の診察を受ける機会も減ってしまいます。長期間診察を

受けなくなると、自己判断による医薬品の使用によって健康被害や病状悪化の危険性が考えられます。リフィル処方箋を受け取っていても体調変化がある場合は積極的に受診して、適切な治療を受けることが大事なことです。

かかりつけ薬剤師に相談してアドバイスを求めるのも良い方法です。必要に応じて薬剤師から医師に情報提供が行われるため、診察がスムーズに進みやすくなります。

### ②リフィル処方箋を希望しても発行してもらえないことがある

リフィル処方箋の対象となる患者さんや記載できる薬剤には制限があります。また、すべての医療機関がリフィル処方箋を導入しているわけではありません。そのため、リフィル処方箋の発行を希望しても対応してもらえないことがあります。定期的に受診することが難しい場合は医師と相談し、可能な範囲で薬の処方日数などを調節してもらう必要があります。

### ③処方箋を保管しておかなければならない

リフィル処方箋で1回目の薬を受け取ったあとは、次回薬局へ行くまで処方箋を患者さん自身が保管しておかなければなりません。リフィル処方箋を紛失したら薬を受け取れないので、注意が必要です。薬局へ行くときは、必ずリフィル処方箋の原本を持参してください。

### ④いつでも薬を受け取れるわけではない

2回目・3回目の薬の受取日はある程度自由に決められますが、「調剤予定日の前後7日以内」という制限があります。

## まとめ

医療機関を受診する機会が減ることから今まで以上に薬局選びが重要になってきます。

「身近で通いやすい薬局」「信頼できる薬剤師のいる薬局」を選ぶことがポイントになってきます。リフィル処方箋が発行される前にくすりの窓口で「かかりつけ薬局」を決めておいては如何でしょうか。

# 2022年度 公益文化事業



今年度の公益文化事業は、岩手教育会館、岩手県教職員互助会、岩手県高校教育会館との共催により、9月は「いしがきミュージックフェスティバル」11月に「岩手教育芸術祭美術展、コーラスネットワークいわてコンサート」12月には「二木芳人講演会」を開催し、沢山の方々にご来場いただきました。

## 第51回岩手教育芸術祭美術展入賞者（敬称略）

	絵画	書道	写真
芸術祭賞	富田喜平司（二戸市）	藤岡 宏章（県立図書館）	黒田 隆治（盛岡市）
優秀賞	溝口 昭彦（盛岡市）	八木橋ひろみ（盛岡市）	北井崎 昇（盛岡市）
	新藤 彰一（滝沢市）		
奨励賞	伊藤真理子（盛岡市）	北田 聖子（盛岡市立高）	蜂谷 福夫（奥州市）
	穴戸 弘徳（大船渡一中）	芳賀 尚代（盛岡市）	千田 久（奥州市）
	八木 毅（盛岡市）	木内 淳子（石鳥谷小）	河東田康昭（奥州市）
	鈴木 ミエ（盛岡市）	横田 朗子（北上翔南高）	斉藤 了二（盛岡市）
	阿部 龍一（北上南中）	八木橋哲夫（盛岡市）	松坂 翔太（奥州市）

## 陳情行動

今年度も、現職・退職会員の皆様に「全ての世代が安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境整備を求める陳情」の署名活動にお取り組みいただきました。集約された署名簿の回収数2,018枚（回収率16.7%）で、署名者数は13,517人（全国集計では382,771名）となりました。

署名簿を携え、昨年11月17日に全国の教職員互助団体からの陳情団と共に、政府・政党・関係国会議員への陳情を行いました。岩手退教互からは、東京地区松淵昂会長、専務理事の川村元の2名が参加し、岩手県選出の国会議員へ陳情を行ってまいりました。

陳情署名活動にお取り組みいただきました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報96号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】			
川敏子	2022年	2月22日	98歳
高野克郎		8月12日	95歳
大山毅		8月13日	90歳
大工藤和子		8月16日	87歳
外館富貴		8月23日	91歳
工藤宏		8月24日	89歳
中村幸輔		8月27日	86歳
藤原孝子		8月31日	101歳
鈴木謙治		8月31日	97歳
鈴木池雅裕		8月31日	86歳
鈴木池浩		9月1日	83歳
千葉明雄		9月3日	90歳
中村晴彦		9月4日	69歳
蛇口英也		9月11日	76歳
森美也		9月14日	86歳
小佐藤仁郎		9月19日	83歳
坂本悟郎		9月23日	91歳
関田照代		10月1日	70歳
佐々木ハナ		10月3日	94歳
佐掛博		10月5日	94歳
柿崎和昭		10月8日	94歳
菊池敬志		10月8日	83歳
吉見正信		10月11日	93歳
菊池瑞枝		10月29日	81歳
菊池内龍和		11月19日	93歳
吉田和子		11月26日	86歳
中里修		11月28日	88歳
熊谷眞夫		12月2日	85歳
田口工淳		12月4日	93歳
田中淳		12月7日	94歳
沼田聡		12月28日	86歳
佐々木努		12月29日	86歳
馬場英彦		12月29日	83歳
小岩慎子	2023年	1月7日	96歳
村久		1月9日	106歳
小金沢孝		1月9日	87歳
福田昇		1月13日	89歳
藤池洸		1月20日	93歳
佐藤信		2月1日	91歳
長澤宏		2月1日	84歳
村松徹		2月7日	95歳

【岩手地区】			
山根マサ	2022年	8月14日	84歳
坂下英樹		8月26日	63歳
高橋アヤ		9月15日	106歳
千葉穎司		10月9日	93歳
佐藤トミ		10月20日	100歳
原敏		11月25日	84歳
藤修吾		12月17日	82歳
山口武男		12月26日	88歳
五日市泰		12月28日	90歳
眞崎良平	2023年	1月3日	76歳
佐藤良		1月7日	88歳

【紫波地区】			
藤岡國明	2022年	8月23日	78歳
佐々木茂三		9月27日	82歳
渡辺興一		10月3日	83歳
及川正志		10月19日	85歳
高橋キサ		11月1日	80歳
中嶋義郎		11月19日	91歳
米内幸一		11月26日	89歳
佐々木武男		12月28日	90歳
高橋敬明	2023年	1月18日	87歳
藤川昌甫		1月24日	89歳
鎌田ツヤ		1月30日	92歳

【稗貫地区】			
佐藤トミ	2021年	12月30日	99歳
澤村克信	2022年	9月7日	88歳
藤原文夫		9月10日	87歳
瀬川孝三		9月22日	81歳
菊池和子		9月27日	95歳
濱田昭男		9月27日	90歳
藤原郁夫		10月8日	95歳
石川利夫		10月10日	92歳
筑後盛		10月12日	85歳
浅沼久男		11月21日	88歳
古川篤子		11月22日	95歳
鷹嘴順郎		11月28日	87歳
佐々木俊司	2023年	1月2日	88歳
池田雅孝		1月14日	79歳

【和賀地区】			
菊池貞子	2022年	9月3日	101歳
門脇睦子		9月4日	90歳
小野寺功平		9月19日	84歳
高橋健一郎		10月3日	96歳
佐々木正三		10月6日	90歳
高橋徳雄		10月27日	84歳
阿部省吾		11月23日	86歳
鈴木郁朗		12月12日	89歳
高橋輝夫	2023年	1月10日	90歳
三上美枝子		1月23日	91歳
八重樫良男		2月12日	91歳

【胆沢地区】			
小野寺泰志	2022年	8月26日	93歳
峯雄四郎		8月31日	89歳
阿部フキ		9月20日	95歳
金澤信子		9月20日	81歳
齋藤盛		10月1日	91歳
後藤彦寿		10月4日	88歳
小野寺弥四		10月26日	97歳
佐藤毅		11月2日	82歳
平塚祥子		11月2日	81歳
鈴木アサ子		11月10日	98歳
佐藤俊巳		11月13日	89歳
阿部修吾		11月16日	91歳
三浦辰郎		12月9日	94歳
小山三和子		12月14日	97歳
佐藤昭二	2023年	1月6日	92歳
近藤宇紘		1月12日	82歳
熊谷郁		1月16日	97歳
伊藤正雄		1月16日	90歳
宮澤春吉		2月10日	81歳

【江刺地区】			
千田正司	2022年	8月5日	87歳
安部正子		9月18日	93歳
石川晨夫		11月4日	92歳
伊藤俊子		11月9日	93歳
及川京子		11月27日	95歳
鈴木道隆		12月11日	93歳

【西磐井地区】			
丹野満子	2022年	6月1日	89歳
高橋禮子		8月27日	86歳
佐藤成子		9月4日	92歳
及川佳代子		9月9日	80歳
佐藤正巳		11月25日	81歳
亀卦川慧		11月29日	91歳
鈴木政喜		12月1日	91歳
岩沢守		12月13日	88歳
水沢富子		12月15日	95歳
早川孝子		12月24日	95歳
伊藤敬二		12月31日	70歳

【西磐井地区】			
若生照江	2023年	1月1日	95歳
金野勝江		1月7日	79歳
岩渕啓己		1月9日	94歳
小野寺秀子		1月20日	93歳
本田悦子		1月26日	95歳
狩原尚義		1月28日	87歳

【東磐井地区】			
佐藤浩	2022年	8月10日	84歳
熊谷正		9月24日	74歳
千葉良弘		9月30日	75歳
鈴木いせ		11月11日	87歳
五安城嘉一		11月15日	92歳
三浦賑子		12月12日	95歳

【気仙地区】			
金東晃	2022年	6月3日	94歳
佐々木忠和		9月11日	84歳
千葉茂生		10月19日	81歳
佐藤峰男		11月29日	86歳
刈谷孝一	2023年	1月3日	102歳
木ノ下大信		1月9日	93歳
熊谷秋子		1月14日	78歳

【釜石地区】			
金山盛男	2022年	8月15日	87歳
似内ソノ		8月26日	87歳
烟屋翼夫		9月12日	78歳
菊池菊司		9月14日	86歳
岩切智子		9月27日	89歳
山崎智江子	2023年	1月5日	88歳
三浦秀男		1月6日	92歳
上野賀久子		1月8日	91歳

【遠野地区】			
菊池勝志	2022年	9月23日	95歳
西田皓悦		10月25日	93歳
宮田智子		12月11日	98歳

【宮古地区】			
三浦政子	2022年	9月13日	93歳
野崎京子		9月17日	89歳
向口正喜		9月19日	93歳
相田佳郎		10月18日	86歳
小川勇一郎		11月16日	94歳

【下北地区】			
佐々木與三郎	2022年	10月20日	76歳

【九戸地区】			
磯崎長雄	2022年	9月13日	87歳
村田ノリ		10月20日	90歳
大崎壽也		12月11日	85歳
外館新太郎	2023年	1月25日	89歳

【二戸地区】			
山本愛	2022年	8月28日	90歳
小守一男		10月15日	88歳
南館嘉勝		11月3日	88歳
小澤英寛		11月14日	82歳
田村透		12月31日	63歳

【東京地区】			
日影セイ	2021年	11月22日	93歳
露口欣爾	2022年	8月7日	81歳
千葉親吾		8月11日	101歳
千田ト		10月1日	101歳
石橋タカ		11月18日	98歳
渡部郁也		12月7日	95歳

【仙台地区】			
出羽達	2022年	8月14日	95歳
瀧本慶子		11月30日	86歳

# 寿

## 満100歳!! おめでとう ございます。

第96号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生日を迎えられましたので、ご紹介いたします。



松岡みよ子さん  
(東磐井地区)

大正11年8月27日生  
昭和54年3月  
松川小学校退職

現在は息子さん夫婦とお孫さんと4人でご自宅に住んでいます。日中はお家で留守番をして応対しております。趣味は木目込み人形を作ること、皆さんにたくさんお譲りし、喜んでもらっています。出来上がった時の嬉しさはひとしおで、それがとても楽しいですとのこと。

本人直筆のお手紙、お礼状をいただきました。



松本 紫さん  
(盛岡地区)

大正11年9月4日生  
昭和56年3月  
厨川小学校退職

現在老人ホーム入所中で何の心配もなく暮らしています。若い時から音楽馬鹿で東京から疎開してきた先生につき発声法や歌曲の勉強を10年やり、NHKコンクール中学校の部で5年間県代表に。指導はつらかったが勉強になったとのこと。手押し車を補助に廊下を往復しリハビリに励み出される食事はいつも完食。ホームで皆さんの手本だという人もいて、嬉しく過ごしています。



遠藤 克子さん  
(西磐井地区)

大正11年10月3日生  
昭和51年3月  
永井小学校退職

江釣子に生まれ、高等女学校から師範学校に進み教職の道に。27歳で結婚。二人の娘を育てました。

主に花泉町内の学校に勤め、人生の大半を子供たちの明るい声に包まれて過ごしました。かわいいその声にどれほど癒されたか知れませんが、退職後も「あの子は今頃どうしているかな。どんな大人になったのかな」などと往時のことを思い起こしております。

地域の皆様に支えられた素晴らしい人生を過ごしています。

菅原 幸子さん  
(胆沢地区)

大正11年11月7日生  
昭和46年3月  
伊手小学校退職

退職後は屋敷内の花木の手入れや野菜作りなどを続けてきましたので、気分の良い日は外に出て手押し車を押しながら散歩をしたり、庭の手入れなど出来る範囲で体を動かすようにしています。家族と一緒に食事毎日の楽しみで元気に暮らしております。

お手紙と白寿のお祝いのお礼状をいただきました。

山本 テツさん  
(盛岡地区)

大正11年12月4日生  
昭和49年3月  
下橋中学校退職

退職後は生協の集まりの短歌サークル活動に参加したり、趣味で庭造りをしてお花を植えたりと様々な趣味を楽しんできました。教職員時代は家に帰宅後もテストのマルつけを行ったり、子育ても両立させ、精一杯務めていたことを思い出します。とご家族よりお話しをお伺いしました。



波岡 茂行さん  
(紫波地区)

大正11年12月4日生  
昭和58年3月  
好摩小学校退職

退職後は町の剣道スポーツ少年団で指導したり、詩吟や陶芸教室に通ってました。

現在は施設で元気に過ごしており、身の回りのこと、食事、歩行や入浴も一人でこなしております。

コロナの影響で外出もままならず、月1回の通院時しか面会できない状況です。先生からは姿勢が良いですねと話されたそうです。

山口 マツさん  
(紫波地区)

大正11年12月21日生  
昭和50年5月  
不動小学校退職

93歳の時、腸閉塞の手術をしましたが、自宅で元気に過ごしていますが、現在は耳が遠くなり、多少物忘れがあるものの、お風呂や食事も一人で行い、歩行器や杖を使って自分で歩き、週1回のデイサービスに通っています。現在の状況を同居されている娘さんから丁寧なお手紙を頂きました。

### 「研修企画旅行」再開のお知らせ



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企画募集を中止しておりました福利厚生事業の「研修企画旅行」を基本的な感染症対策を講じたうえで再開します。会員の研修と親睦を兼ねた国内外の旅行をご案内いたしますので是非ご参加ください。

■(株)みちのりトラベル東北  
(平日9:00~17:30 土日祝休み)

■退教互企画旅行専用☎

0120-345-446

### あとがき

新型コロナウイルス感染症について政府方針が3月13日からマスク着用は個人判断、5月8日から5類へ引き下げる対応が出されています。これまでは「専門家の意見を聞いて…」でしたが、アピールしていた「聞く力」はどこへいったのやら…。ちなみにアレルギー持ちの私は当面マスク着用が必要です。④